

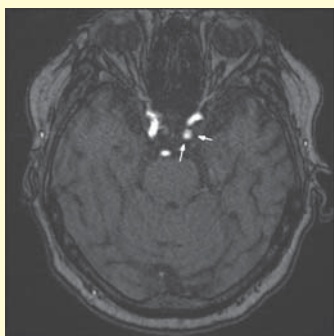
脳・血管ドック

脳ドックは必要でしょうか？

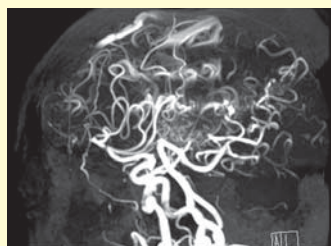
脳卒中などの脳の病気は、日本では1980年までの30年間死亡原因の1位でした。脳卒中はある日突然発病し、重度の後遺症や死亡に至ることもあります。日頃から、脳ドックなどの検査を行って、早期発見・治療を行うことが非常に重要です。また、無症候性脳梗塞などのように、自覚症状の現れないケースも多々あります。定期的に検査することをお勧めします。



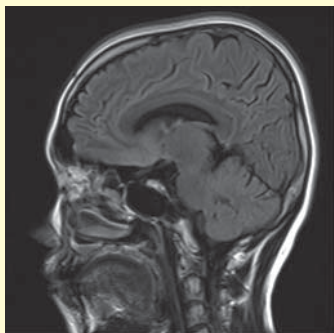
▲MRI(シーメンス1.5T)



▲脳動脈瘤(未破裂)



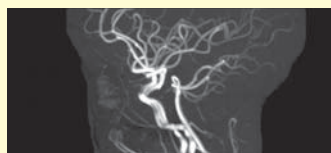
▲脳動静脈奇形(AVM)



▲正常例



▲脳動脈瘤(未破裂)



▲正常例

脳ドックの推奨

脳ドックの目的は、無症状の人を対象に、MRI装置を使い、MRI、MRA画像から診断します。MRI検査により、症状の無い方あるいはまだ発病していない方の脳および脳血管疾患あるいはその危険因子を発見し、それらの発症あるいは進行を防止しようとするものです。

主な発見の対象は、

- ① 無症候性脳梗塞
- ② 脳出血の危険因子
- ③ 脳動脈瘤
- ④ 無症候性頭蓋内および頸部血管閉塞・狭窄
- ⑤ その他の機能的、器質的脳疾患(脳腫瘍など)

です。それらの結果について判定と指導が行われます。

●検査項目●

頭部MRI検査
頭部MRA検査
頸動脈超音波検査
血圧脈派検査(ABI)

●料金(税別)●

脳・血管ドック(単独)

35,000円

人間ドック併用の場合

人間ドック料金+30,000円

所要時間

40分~60分位